

「心をつないで・・・」

1 直人は2-Aの指揮者。彼の熱の入った指揮に導かれ2-Aは優勝候補だった。まもなく行われる校内合唱コンクールに向け一丸となって練習に励んでいた。

2 もう3日前というときの練習のことだった。いつも放課後残されるアルトパートだったが、その日はとくに声がそろわない。音程も難しいのだが、アルトのパートリーダー^{まい}舞はアルトの音程をそろえようと頑張っていた。そんな舞に直人から厳しい指導が入る。「舞、何回言ったらわかるんだ？ソプラノの音聞いてっか？何回言った？アルトが入るのが毎回遅すぎるんだよ。だから次の声がそろわないんだよ。ちゃんと聞いてんのか？」次々と言葉がエスカレートしていった。

3 舞は泣きながら音楽室を出る。教室に入った舞をアルトの仲間が追いかける。「ごめんね、舞」「わたしたちがへただから・・・。」とみんなが舞に謝るのだった。

4 少し遅れて舞の親友でソプラノリーダーのえりが舞をなだめに来る。「あんな言い方しなくてもいいよね。」

5 その夜わたしたちの間でメールが飛び交った。「直人、だんだんひどくなってきたね。」「がまんしてきたけどもう限界だー」「舞、かわいそうっしょ」など直人の非難メールが多かった。一方で、舞へのリーダー性のなさもいくつか指摘されていた。

6 えりはメールを読みながら、メールを返すわけでもなく、ただ「クラスがばらばらになってしまうな・・・もうすぐコンクールなのに・・・」と思っていた。

7 もう寝ようというときに1通のメールが届いた。「大変だ！！えり、M2の掲示板見て」M2掲示板というのは携帯から書き込みができるサイトでM2中のだれかが立ち上げている。管理者はわからない。先生の悪口とかクラスの馬鹿話なども掲示板に書かれることがある。でも管理者はいい人らしく、悪口は1ヶ月くらいで消えることが多い。「もしかして直人や舞のこと書かれたかな・・・」とM2の掲示板を見る。

8 TM「2-Aの指揮者、今日もかなりはりきったらしいじゃん。」 MiMi「そうそうどこまでも自己中心。相変わらずっていうか。コンクールまで止まらないね。暴走。」TM「えばりたい男は嫌だな」SO「みんな指揮者のいうこと聞けないって言えばいいんじゃない？」次々と書き込まれていく悪口。直人をよく知らない人たちまで、直人の悪口に参加する。掲示板の怖さを知った気がする。直人が見たら悲しむだろうな・・・

9 直人をよく知らない人たちまで、直人の悪口に参加する。わたしはなんだかいてもたってもいられなくなり、勇気をだした。

10 TOTO「みなさん、すみませんがNの批判を終わりにしてください。たしかに彼は強い口調で注意しました。クラスもばらばらになりかけています。でも2-Aのために毎日だれより早く来てピアノ伴奏者が着き次第すぐに練習し、みんながくれば一人一人にアドバイスをしてきたのです。どうぞNを許して下さい。この話題はもうこれで終わりにしてください。お願いします。」

11 わたし書き込んで20分後管理者の人がこの話題に関するページを削除してくれた。「管理者がいいサイトでよかった…直人が見る前でよかった」勇気をだして本当によかったと思った。

12 次の日…早朝の音楽室。やっぱり直人は早く来る。直人が下を向きながら「えりだろ…昨日M2掲示板に最後に書き込みしてくれたの…」「えっ！、M2掲示板知ってたの？」「うん…3日前から書かれてたんだ。」「そんなに前から…。そうだったんだ…直人…つらかったね…。」

13 「本当は書き込みがショックでもう指揮者やめようって何度も思った。でもみんなでここまでやってきたからあと少しあと少しって言い聞かせてここまで来たんだ…。」

14 直人は最後の練習を終えると何も言わずに帰ってしまった。

15 その姿を見て、テノールリーダーのテツが「みんな…聞いてくれないか。直人はずっと2-Aのためにやってきたんだよ。たった一人でみんなを支えてきた。掲示板に書いたりさ、そんなに文句があるならこの台に乗ってみろよ。どんなに大変か…。明日のコンクールの前に直人に謝ろうと思う。」「わかった…。」2-Aのみんなは、今まで一番声をだしてひっぱってくれた直人のつらさを感じていた。

16 その夜…2-Aみんなに直人からメールが届く…。「明日はいよいよ本番。今まできついと言ってごめん。いろいろきびしく言ってたのは、みんなにがんばってほしかったからなんだ…。今まで歌った中で今日が一番きれいでよかったから今日のように歌えば大丈夫。いろいろオレに文句とかあったかもしれないけど、今までついてきてくれてありがとう。明日は心をひとつにしてがんばろう。絶対優勝しよう！！」

17 歌の絵

18 「優勝は 2-A組」 「きゃあー！」(実音)